

チャイコフスキー作曲 歌劇「マゼッパ」

191012

幕	場	場面	内容	分	主な歌う登場人物						見どころ
序曲				6							
第一幕 60分	1	マゼッパの求婚とコチュベイの復讐	<p>小作人の少女の団が歌いながら花の冠を作って占い遊びに興じている。愛しているマゼッパを待たせているマリヤは、途中、幼馴染のアンドレイから愛を打ち明けられるが、すれ違いとなりアンドレイは絶望する。</p> <p>マゼッパは、マリヤ・コチュベイの両親ヴァシリーとリュボフに、娘をくれるよう求める。しかし、コチュベイは、70歳代のマゼッパが18歳のマリヤの代父であり、ロシア正教会では血のつながった親子よりも近い関係だと指摘する。</p> <p>コチュベイはマゼッパに立ち去るよう命じる。マゼッパは、自分が既にマリヤに受け入れられていると仄めかすが、コチュベイが拒絶するのでマゼッパは自らの衛兵を使い降伏を要求するが、全員が彼の不道德な要求を罵る。</p> <p>マリヤが双方の間に入るが、マゼッパはマリヤに対して親と自分の選択を迫るのでマゼッパを選ぶ。</p>	54	マリヤ	アンドレイ	父ヴァシリー	母リュボフ	マゼッパ		
	3		嘆き悲しむリュボフは、コチュベイに、復讐するよう仕掛ける。マゼッパがスウェーデンと組んでウクライナをピョートル大帝の支配から解放すると口にしていたことを聞いていたコチュベイは、その件を大帝に密告することにする。	14			ヴァシリー	リュボフ		イスクラ	コサックの踊り
第二幕 70分	1		しかし、ピョートル大帝は、コチュベイを信用せず、逆に彼をマゼッパに引き渡した。マゼッパの子分のオーリックは、コチュベイが隠された財宝の在り処を明らかにしなければ拷問してよい命令が出ている。	20	マリヤ		ヴァシリー			オーリック	
	2	コチュベイの拷問と処刑	<p>マゼッパは、コチュベイに対する仕打ちをマリヤが知った時、傷つけることになるので心配している。オーリックが現れたのでコチュベイの処刑準備について確認する。</p> <p>マゼッパは、暗くなったままのマリヤに、今後、ウクライナから独立して自ら王になりマリヤが王妃になるという計画を打ち明ける。よって、マリヤは彼に全てを捧げることを誓う。</p> <p>母リュボフが到着し、コチュベイを救えるのはあなただけだと言われ、マゼッパの元へ行くよう嘆願される。マリヤは、その話を聞き恐ろしくなり、マゼッパにコチュベイの命乞いをするため処刑場に急ぐ。</p>	70	マリヤ			母リュボフ	マゼッパ	オーリック	
	2		町の者たちが処刑を見にきている。マゼッパに向けられる独裁に対する嫌悪感とコチュベイに向けられる嘆きが漂っている。酔ったコサック人が陽気かわいらしい民謡を歌っている。マゼッパとオーリックが到着し、コチュベイとイスクラが断頭台に進む。二人は神に許しを祈った後、観衆が取り囲む中で執行される。コチュベイの妻と娘が到着したときはすでに遅かった。リュボフとマリヤは涙にくれる。	15	マリヤ		父ヴァシリー	母リュボフ	マゼッパ	イスクラ	オーリック
間奏曲(ポルタヴァの戦い)				5							
第三幕 45分	1		アンドレイはポルタヴァの戦いに出兵していたが、マゼッパを見つけ出すことはできなかった。マゼッパとオーリックはかつて強大な力を誇った自分がある時全てを失って今に至るのだという想いに耽る。彼はオーリックをキャンプ設営に送り出す。アンドレイが飛び出して刀剣でマゼッパに挑みかかるが、マゼッパは自分は武器を持っていると警告する。アンドレイはマゼッパに刃向かったときに発砲される。	18		アンドレイ			マゼッパ	オーリック	
	2	逃げるマゼッパと気が触れたマリヤ	<p>月が昇り、照らされたマリヤが現われるが、悲しみのあまり精神に異常をきたしている。マゼッパは、彼女を落ち着かせようとするが、オーリックが軍隊がこちらへ向かっていると知らせ、マリヤは足手まといになるので、置き去りにして立ち去る。マリヤとアンドレイが残るが、アンドレイの身体の血に気付き泣き出した彼女は、まだ息絶えていなかったアンドレイを見て幼い子どもであると勘違いする。彼はマリヤに最後に顔を見たいからこちらを向いて欲しいと請うが、自分の世界に入っている彼女は彼に子守歌を歌うばかりで、何が起きているのか、彼が誰なのかも分かっていない。アンドレイは彼女に最後の別れを告げる。マリヤはその亡骸を穏やかに揺すり、遠くを見つめながら子守歌を歌って幕が下りる。</p>	40					マゼッパ	オーリック	
				22	マリヤ				マゼッパ	オーリック	

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。